

東京医科大学建学の礎

長
委
三
美

長委三美（ちょう・いさみ）氏の略歴

広島県芦品（あしな）郡（現府中市）出身（1889.9.1～1954.2.25）。福山誠之館中学卒業後、大正4年に日本医学専門学校入学。大正5年5月16日の学生総退学時に同盟退学。5月後半以降、学生団の一員として各界の多くの有力支援者を訪ねて活躍。その経緯を「東医の礎」として記録した。この当時より雅号を雪山とした。大正9年に東京医学専門学校卒業。卒業後は郷里の広島県芦品郡大正村で内科開業し、地域医療に貢献。芸備医会に入会。

次男、亨氏は東京医学専門学校を昭和19年に卒業し、広島県福山市で外科医院を開業。「東医の礎」は長亨氏より東京医科大学へ寄贈されたことから、注釈と訪問名士の略歴を本文中に加えた上で「東京医科大学建学の礎」として活字化されることとなった。なお、表紙の長委三美（雪山）氏による色紙（新春）は長亨氏より提供された。

目次

はじめに	1
学校法人 東京医科大学 理事長 伊東 洋	1
「東京医科大学建学の礎」に寄せて	3
東京医科大学 学長職務代理 下光輝一	3
東京医学講習所・東京医学専門学校開校に至るまでの経緯	7
第一章 同盟退学と模索（大正5年5月）	
5月3日 文部次官福原（僚二郎）	11
5月6日 文部省専門局長 松浦（鎮次郎）	11
5月13日 高島平三郎	13
5月15日 大隈重信秘書官 山崎	15
大角桂巖	16

5月16日	通信省参政官 荒川五郎	18
5月□日	茅原崯山(廉太郎)	21
5月25日	法学博士 花井卓蔵	23
5月□日	帝大教授医学博士 呉 秀三	25
5月27日	帝大教授医学博士 永井 潜	26
5月30日	茅原崯山(廉太郎)	27
5月30日	第3回公開演説会	
	東洋大学長 高島米峯	33
	市会議員 笠原文太郎	35
	二十世紀主筆 森川国南	38
	慶大教授 向 軍次	39
	大町桂月	39
5月31日	加藤高明男爵の秘書 山本	40

第二章 学生県人会による名士訪問（大正5年6月）

6月1日	医学博士 尼子四郎	41
6月2日	前沖繩県知事 高橋琢也	42
6月□日	茅原崙山（廉太郎）	46
6月□日	代議士 瀧口了信	47
6月□日	貴族院議員 藤井包総	49
6月8日	佐藤達次郎	50
6月9日	医学博士・陸軍軍医総監・男爵 佐藤進	51
6月10日	大野銀行頭取 大野（伝兵衛）	54
	医学博士 佐藤 佐	55
	医学博士 三宅鉦一	56
6月11日	市会議員 秋 虎太郎	57
	大道社社長 大角桂蔵	58
6月12日	後援会懇談会（於・みかどホテル）	59
	東京府会議長 齊藤孝治	59

6月25日	高橋琢也	75
6月□日	ライオン 小林富次郎	74
6月23日	荒川五郎	72
6月22日	貴族院議員 江原素六	71
6月□日	代議士 守屋氏介	70
	秋 虎太郎	70
	高橋琢也	69
6月20日	貴族院議員・軍医総監・男爵 石黒忠恵	67
6月□日	高橋琢也と寺尾 亨	66
	前代議士 福本日南	65
6月18日	佐倉侯・伯爵 堀田正恒	64
6月□日	第一銀行頭取 佐々木勇之助	63
6月□日	貴族院議員 江原素六	62
	慶応大学教授 向 軍次	61
	法学博士 寺尾 亨	60
	大道社社長 大角桂巖	60

6月26日	佐藤 進	97
6月□日	富士川游	77
6月29日	海軍軍医学校長・軍医総監 矢部達三郎	78
	海軍医務局長・医学博士・海軍軍医総監 本多忠夫	79
	前代議士 井上角五郎	80
6月30日および7月1日	東京市施療病院事務長 藤井庄一郎	81

第三章 東京医学講習所開設への序曲（大正5年7、8月）

7月初旬	森村市左衛門	88
7月5日	五名士の学生会議への登場	
	前沖縄県知事 高橋琢也	90
7月8日	陸軍軍医総監・医学博士 森 林太郎	91
7月□日	海軍医務局長・軍医総監・医学博士 本多忠夫	93
	国論者探題 佐藤貝村	95
7月9日	前万朝報主筆 茅原華山	97

7月12日	前福岡新聞社長 福本 誠	100
7月12日	帝大教授・医学博士 近藤次繁	102
7月12日	医学博士 南 大曹	103
7月13日	衆議院議長 島田三郎	105
7月13日	回生病院長・医学博士 中濱東一郎	107
7月15日	東京市主事 藤井庄一郎	109
7月17日	前沖縄県知事 高橋琢也	111
7月17日	法学博士 寺尾 亨	114
7月17日	前代議士 福本 誠	115
7月17日	慶大教授 向 軍次	116
7月17日	医学博士 呉 健	119
7月17日	海軍大将 中尾 雄	120
7月17日	通信省参政官 荒川代議士	121
7月18日	通信大臣 後藤新平	122
7月18日	高島平三郎	124

7月19日か
慶大教授・法学博士 気賀勘重……………126

東京府会議長 斉藤孝治……………127

7月20日
貴族院議員 江原素六……………129

7月21日
農商務省大臣 河野広中……………132

7月25日
茅原崋山（廉太郎）……………133

7月25日
代議士 瀧口了信……………135

8月□□
前農商務次官 和田彦次郎……………136

医学博士 額田 豊……………137

東京市伝染病院 二木鎌三……………140

衆議院副議長 早速整爾……………141

第四章 東京医学専門学校開校と指定校認定への新たな苦闘（大正5年9月以降）

9月24日
衆議院議長 島田三郎……………142

子爵 加藤高明……………143

9月□□日
三輪田女学校 三輪田元道……………145

□日	高野熊男	168
□日	尼子四郎	168
12月□日	画会案内	167
12月22日	宮中顧問官 佐藤 正	165
12月10日	東京日日新聞記事	164
12月9日	画書購入御願(高橋琢也)	163
大正6年		
12月2日	佐藤達次郎	161
11月28日	井上角五郎	159
11月17日	児童心理学大家 高島平三郎	158
10月16日(か)	東京府会議長 斉藤孝治	157
10月15日	平山胃腸病院 平山金藏	154
10月15日	南胃腸病院 南 大曹	153
10月12日	貴族院議員 和田彦次郎	151
	石黒忠愼(男爵)	146
	医学博士 近藤次策	146

□日 松原正寿……………169

大正7年

1月20日 寺尾 亨……………171

□日 福本 誠……………174

□日 寺尾 亨……………175

特別寄稿

東医と順天堂と回生病院 佐藤 蕃 (東京医科大学・昭和二十九年卒)……………177

おわりに 一色 淳、勝村俊仁、栗原茂勝、友田燁夫 (東京医科大学・「東京医専」)……………182

長 委三美・訪問譜(紛争経過、森 鷗外日記、中濱東一郎日記との比較)……………184

人名索引